

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2025年 3月 31日

事業所名 まなびの森キラリ春日部

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・通廊や机上活動で空間を分け活動のメリハリをつけています。また多様な活動が実施できるよう室内以外にも戸外活動へも積極的に参加しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		・適切な職員を配置するだけでなく内部研修やWEB研修を活用し支援の質の向上に努めています。	・言語聴覚士や作業療法士等の専門職を配置し活動の幅を広げていけるようにしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・安心して活動へ集中できるような子どもの特性や状況に応じて環境構成等工夫をして対応できるように努めています。	・支援プログラムの続けにならない範囲でより視覚的に情報を認識しやすくなるように適切な指示を行っています。また子ども達が日々利用しやすいような環境を構築した工夫を還元していきたいとします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・支援プログラム終了後などこまめに清掃を行い清潔な環境を保てるよう心掛けています。	・療育室内の物を可能な範囲で減らし支援プログラムの妨げとならないよう清潔で安全な環境設定を重視し努めていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・活動の前夜で職員同士で活動内容について話し合い療育終了後には振り返りを行っている。	・様々な業務改善に向けての取り組みを進めていく為に、引き続き職員の参画意識の向上に取り組んでいきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者の方との面談や相談を通して保護者の意向を確認し必要に応じた業務改善をしています。	・今年度の評価を生かして新たに改善すべき点は検討し対応していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・事業所における自己評価結果及び保護者等からの事業所評価の集計結果をホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・法人内の研修や外部研修に参加しています。 ・事業所内研修も実施し職員の資質の向上に努めています。	
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者の方との面談や子どもの興味関心、活動支援への参加状況から保護者や子ども両方のニーズや課題を抽出し作成しています。	・今後も保護者の方のニーズや思いを汲み取り一人ひとりに応じた支援目標と支援計画を作成していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・病院で行った発達検査や知能検査の結果を保護者の方から提供いただき職員同士で共有しています。	・今後もより子どもに合った支援プログラムができるように努めてまいります。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・個別計画は児童発達支援ガイドラインに基づき、面談や日々の療育を通じて子ども自身の強みを大切に保護者の思いを加味し、一人ひとりに応じた支援目標と具体的な取り組み内容を設定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援計画を全ての職員で確認し共通理解を持ち支援しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・一人ひとりの発達や特性を踏まえて職員で相談しながら活動内容を決めていきます。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・子どもたち一人一人の発達や特性に合わせて日々内容を変えています。その日の子どもの様子や発達しながら支援内容を調整し無理せず参加し続けるようにしています。	・今後も有意義な成功体験や達成体験が得られる機会の提供を目指してまいります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・個別活動や集団活動を適宜組み合わせるおとさんや保護者の方のニーズを踏まえながら適切に計画書を作成するよう心掛けています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・支援プログラム前に打ち合わせを行い当日の内容や流れ等必要な情報の共有と確認を行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援プログラム後には必ず振り返りを行いその日のプログラムで子どもたちの様子や気づき、成長した点等踏まえ今後の課題などを話し合い次の支援プログラムに活かすようにしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・計画に基づく支援に対する記録を基本にその日の状況等も記録しています。	
関係機関 や保護者との 連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・日々モニタリングの機会でも一人ひとりに合った適切な支援を心がけています。 ・面談という形で保護者の方とも子どもの成長の状況共有した上で、計画の見直しについて確認しています。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・管理者が発見発覚、担当職員のうち適切と思われる職員が参画しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて関係機関と連携をした支援を行っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・対象児童はいません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・対象児童はいません。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・子どもたちが通っている施設には必要に応じて訪問や電話などで情報共有をしています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・年長児が通っている施設や就学先の小学校とも要諦等を通して情報共有を図っています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・必要に応じて市町村の担当者や連携し参加しています。	

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・施設が保育園と併設している為インクルーシブ保育を実施し、交流を図っています。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・必要に応じて市町村の担当者と連携し参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・日々の支援プログラム後にその日のプログラムでの様子伝えるとともに定例面談にて細かく情報交換を行いながら成長している所だけでなく今後の課題についても保護者の方との共通理解できるように努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・面談等を通してお子さんの日々の様子から見られる特性を保護者の方と共有しながら関わり方を説明し家族支援に繋がるよう努めています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・主に契約時に丁寧な説明を心掛けています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・契約時や半年毎の支援計画の見直しの際には保護者の方とのヒヤリングを行った上で必要に応じた変更を行い保護者の方の同意のもと支援計画の内容を決定しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・支援計画書の更新に合わせて目標と支援内容の確認を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・今後検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		定期面談では必ずご要望の有無を確認するようにし職員間で周知できるようにしています。緊急な対応が可能な事例に関しては速やかに実施し解決できるように努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	・SNS等を通して日々の活動内容の一部を情報発信しています。	・行事予定やお知らせ等の情報掲載の場に関しては、今般家庭等困難の方がしやすい速報にキラー用のお知らせスペースを確保し必要な情報を発信させていただければと思います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・SNS等インターネット上に掲載する情報に関しては予め保護者の方へ同意をいただいた上で使用しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・保護者の方とは必要に応じて電話やZOOM、直接お会いするなど意思疎通しやすい手段を取っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各種マニュアルを策定し併設している保育園と連携して災害や事故等に備えた訓練を毎月実施しています。	・マニュアル等を策定しておりますが、保護者の方への十分な周知ができるよう訓練の実施とお知らせに關しまして今後、園内のお知らせスペースにて周知させていただきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・保育園と連携して災害や事故等に備えた訓練を毎月実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・入所前や入園前アセスメントを行い職員が一人ひとりのお子さんの状況について確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			・対象児童はいません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・事業所だけでなく併設されている保育園でもヒヤリハットの事例を共有し、再発防止に努めております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・法人全体でも研修を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・命に関わる場合やお子さんの安全のために必要な場合には事前にご家族と相談確認し、了解を得た上で実施することとしています。	・実施の必要があるお子さんの保護者の方へ事前に相談確認を行っています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：2025年 3月 31日

事業 まなびの森キラリ春日部

保護者等数(児童数) 13 回収数 9 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9				・人数に対してお部屋が広くて良い なと感じています。 ・通園スペースと乳上学習のスペース が分かれていて広々している。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8				・一人一人に対してしっかり目が届く 配置数だと思います。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化 された環境*1になっているか。また、 障がいの特性に応じ、事業所の設備等 は、バリアフリー化や情報伝達等への配 慮が適切になされているか	6	2			・支援プログラムの妨げにならない範 囲でより強制的に情報を提供しやすくな るように適切な掲示を行っていきま す。また子ども達が日々利用しやすい ような環境を意識した工夫を適宜行っ ていきたいと思っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる 環境になっているか。また、子ども達の 活動に合わせた空間となっているか	9				・きれいで明るい空間だと思います。	
適切 な支 援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的 に分析された上で、児童発達支援計画*2 が作成されているか	9				・新たな課題にも適宜対応してくれ ている。 ・面談でしっかりお話しした上で作成 してくださっているとと思います。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援方 イドラインの「児童発達支援の提供すべ き支援」の「発達支援(本人支援及び移 行支援)」、「家族支援」、「地域支 援」で示す支援内容から子どもの支援に 必要な項目が適切に選択され、その上 で、具体的な支援内容が設定されている か	7	1			・まだ子供が小さいのでここまで具 体的には設定されていないように思 います。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	8				1	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工 夫されているか	8	1			・日によって様々なプログラムが展 開されていると思います。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交 流や、障がいのない子どもと活動する機 会があるか	6				・保育園の併設なので交流の機会が 多い。 ・在園児なので我が子には機会があり ますが在園児以外の子はあるのでし ょうか?	・施設が保育園と併設されている為、 インクルーシブ保育を実施し交流を 図っています。
保護 者へ の説 明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか	8	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」のねらい及び支 援内容と、これに基づき作成された「児 童発達支援計画」を示しながら支援内容 の説明がなされたか	8				1	・お子様の課題に対しての取り組みや 結果、結果に対しての今後の関わり方 等、今後の面談でそれに対しての結果 を報告してほしい。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ベ アレント・トレーニング*4等)が行われ ているか	7				2	・毎月の面談を通して成長面や課題 を共有することで家での生活の参考 にしている。 ・まだ利用開始から日が短いのでこ れからやってみようと思います。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題に ついて共通理解ができているか	9					・お迎えの時にこまめに声をかけて くださりありがたいと感じていま す。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児 に関する助言等の支援が行われているか	9					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援さ れているか	3	1		4	1	・保護者会があればぜひ参加したく 思います。 ・どんな活動をしているのか見学で きくと家での参考にできるので楽し い。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとと もに、子どもや保護者に周知・説明さ れ、相談や申入れをした際に迅速かつ適 切に対応されているか	8				1	・まだあまりそのような機会がない ため。 ・リハビリや他事業所の活動、日常 の困り事等お話しするとすぐに先生 同士施設間で共有してくださってい ます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮がなされているか	9					・こまめな声掛けがありがたいと感 じています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動 概要や行事予定、連絡体制等の情報や業 務に関する自己評価の結果を子どもや保 護者に対して発信されているか	5	3		1		・まだ私が知らないだけでしたらす みません。 ・自己評価の結果等は今後ホームページ に掲載される予定になっておりますの でぜひそちらまで確認いただけたらと思 います。・行事予定やお知らせ等の情報 発信の場に関しましては、今後定期的に お知らせスペースを確保し必要な情報を 発信させていただければと思います。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されてい るか	8	1				
非常 時等	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアルを策定し、保 護者に周知・説明されているか。また、 発生を想定した訓練が実施されている か。	5	2			2	・マニュアル等を策定しております が、保護者の方への十分な周知が行え ておりませんでした。避難訓練につき ましては併設している保育園と連携し て毎月実施しております。

の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2		1	・保育園の方と共通ということでしょうか。	・避難訓練につきまして併設している保育園と連携し毎月実施しております。訓練の実施やお知らせに關しまして今後、園内のお知らせスペースにて周知させていただきます。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9				・楽しそうにしていると色々な先生方からお話を伺っております。	・今後も子どもたちが楽しんで通えるような支援プログラムを行ってまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	9				・利用開始して良かったと思っております。 ・保育園側とも連携して面談の内容なども共有してくれているのでとても助かっている。	・いつも事業所運営にご協力いただきありがとうございます。今後もお子様をはじめ、保護者の皆様にも安心して通所していただけるよう努めてまいります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。